

議会だより

No 158

平成31年
1月31日発行



呂楽町成人式典

平成30年 12月定例会

平成30年度 補正予算可決(一般会計・各特別会計)

一般質問 7人の議員が町の考えを問う

- ・大野貞夫議員
- ・大賀孝訓議員
- ・塩井早苗議員
- ・松島茂喜議員
- ・原 義裕議員
- ・松村 潤議員
- ・瀬山 登議員

- 可決された議案…………… 3
- 一般質問…………… 4～10
- わたしのふるさと等…………… 11～12

動画による録画映像配信中

ホームページからアクセスできますので
ご覧ください

議長年頭のあいさつ

正直で真面目な人に優しい議会人



議長 小島 幸典

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、町制施行50周年の祝年に町民願望の邑の森ホールを備えた中央公民館が完成し、多くの功労者が出席するなか完成を祝う記念式典も行われました。

議会関係では、一日子ども議会が32人の小中学生議員により行われ、町長や各担当課長に自分たちの生活環境改善などについて質問しました。今後も議会について関心を持ってくださることを思っています。

町議会にあつては、山形県南陽市の教育行政について視察しました。幼保小中一貫教育では、子どもから大人まで市民全員が社会生活に参加し学び合う姿を知り、中学生の交通当番には心温まる思いでした。

かつて訪れた四国の四万十町でも、故郷を離れ活躍している人への支援や子どもたちに夢を持たせる長期的な人材育成方策などを学んだことがあり、当町においても住民が仲よく生活できる町を目指して行きたいと考えています。

新しい年号の年が皆さまにとってよい年であるよう祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 小島幸典
副議長 塩井早苗

総務教育常任委員会

委員長 松村 潤
副委員長 原 義裕
委員 半田 晴
" 大賀孝訓
" 黒田重利

産業福祉常任委員会

委員長 瀬山 登
副委員長 坂井孝次
委員 大野貞夫
" 神谷長平
" 塩井早苗
" 松島茂喜

可決された議案

〔条例改正等〕

邑楽町職員の給与に関する条例の改正

人事院勧告及び県人事委員会勧告に基づき職員の期末勤勉手当を0・05%引き上げました。

邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

邑楽町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の改正
職員に準じて、議員と町三役の期末手当を0・05%引き上げました。

邑楽町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の改正

前教育長の退職に伴い、退職金を規定どおり支給するため条例の一部を改正しました。

邑楽町国民健康保険条例の改正

国民健康保険税における基礎課税額等の賦課割合を標準化するため、税率等の見直しを図ることから条例の一部を改正しました。

邑楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の改正

入院時食事療養にかかる食事療養標準負担額相当額の助成を見直すことから、条例の一部を改正しました。

邑楽町社会教育施設建設基金条例の改正

総合体育施設建設事業に備えるため、条例の一部を改正しました。

町道の路線認定及び廃止

多々良川の改修事業及び建築基準法の接道に伴う、町道の路線認定及び廃止をしました。

請願・陳情

1件の請願が受理され、審査の結果次のとおりになりました。

〔継続審査となった請願〕

「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する請願書

請願者

前橋市本町
群馬県自治体一般労働組合
執行委員長 宮内 政己

議員辞職

12月3日、田部井健二議員から辞職願が提出され、同日付で許可しました。

■平成30年度補正予算額（12月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	86億7,272万円	8,006万円	87億5,278万円
国民健康保険特別会計	34億4,830万円	1,442万円	34億6,272万円
後期高齢者医療特別会計	2億8,342万円	219万円	2億8,561万円
介護保険特別会計	20億2,723万円	731万円	20億3,454万円
下水道事業特別会計	2億8,153万円	136万円	2億8,289万円
学校給食事業特別会計	2億3,841万円	△531万円	2億3,310万円



大野 貞夫
議員

店舗リニューアル
助成事業について

問 8年前、住宅リフォーム助成制度について質問した。今は全国で9割の自治体を取り入れ、中小零細企業、また、町の活性化にも貢献している。町では、平成24年度に初めて予算化した。この間の実績を伺う。

答 商工振興課長 平成24年当時は工事費20万円以上、工事費の5%で最高10万円であったが、平成28年度から工事費の10%、最高20万円を助成している。平成27年度は、交付件数43件、補助金216万円、補助対象金額4340万461円。平成28年度は、交付申請60件、補助金額790万8000円、補助対象金額1億315万8284円。

平成29年度は、交付申請52件、補助金額659万7000円、補助対象金額9989万円。平成30年度は、交付申請54件、補助金額770万2000円、補助対象金額1億519万7382円である。

問 平成20年の事業者数は1022社であった。比較すると約10年間で31社減ってしまった。この住宅リフォーム補助制度導入後、今日に至るまでの評価について伺いたい。

答 町長 利用している町民が多いと思う。利用者、それを施工している業者には効果が大いと思っ

問 平成28年度に助成率10%、上限を20万円としたことよって、実績が上がった。これを見ても助成率、上限額を上げることが発注者、事業者にとつて魅力的な制度になっている。町内の事業所の現状は。

答 商工振興課長 中小企業が711社、そのうち約9割が小規模事業者で615社である。

問 中小企業者への支援の一環として、商工業者のための店舗リニューアル制度を全国で初めて取り入れた高崎市では、まちなか商店リニューアル助成事業

というところで、店舗を改装する際に費用の半分、上限100万円まで助成している。

る。市長は、「まちを活性化する」閉じているシャッターを開かせ商店街を魅力的にする」。この2つを実現するために考えたのがこの制度であると語っている。規模については、町とは比較にならないが、大変示唆に富んだ発言だと思う。隣の大泉町でも、今年の4月からこの制度を導入している。これからの町のにぎわい、活性化という点について一つの方策と思うが。

十分検討し
予算を見積もる

答 町長 先進地では大変にぎわい、活性化が図られているということは認識している。町内の小規模事業者の店舗改修の希望調査は行っていないが、店舗リニューアル事業について

否定するものではなく、まずは住宅リフォームを優先させ、十分検討した上で予算の見積もりをしていければと思っている。



商店街に賑わいを

一般質問



大賀 孝訓
議員

防災・減災の 対応について

問 邑楽町は、災害のない町・少ない町と言われているが災害のない町はあり得ない。過去には、明治43年8月に利根川の堤防決壊による大水害。昭和22年9月にはカスリーン台風による水害などが「利根川100年誌」に記載されている。過去の災害について町民に再考させる必要があるのではないか。

答 町長 災害は過去に学ぶものだという認識でいる。河川改修は進んでいるが、豪雨時には新中野や明野など孫兵衛川沿いで大きな被害も想定される。機会あるごとにお知らせしていきたい。

問 被害が想定される場合、各行政区別の避難のタイムラインはどのようなようになっているか。

答 安全安心課長 タイムラインは、72時間前からの避難行動を時系列で表した防災行動計画をいう。行政区別のタイムラインは、現在策定されていない。

問 災害対応については、総務課に一本化しておくべきではないか。

答 町長 現時点では、安全安心課と総務課で連携をとって対応している。組織の中で所管する各課で減災に向けて取り組み、問題が起きないような体制を整えている。

問 未曾有の豪雨が想定される場合、各避難所開設時の鍵の管理は一元化されているか。

答 安全安心課長 災害警戒本部設置時には、職員は道路、橋梁など重要インフラを確認し参集することになっている。避難施設の鍵の一元化についても検討しておく必要がある。

問 災害時には、町内の土木業者が迅速に対応できるかが問題である。平成28年以降、県内では「限界工事量」という言葉が問題になっている。町内ではどうか。

答 都市建設課長 限界工事量は、県建設業協会が災害復旧などで人員や資材など、危機管理時に対応

できる組織力の確保に関する重要なポイントという認識である。災害時に応急できる事業者数、機材、人員などは県内全域で減少傾向にある。

問 邑楽町においてはどのような現状になっているのか。公共工事が減少しているという声が多く聞かれるが、発注者責務という観点でも聞きたい。

答 町長 町内には9事業者、機材はバックホーなど87台である。工事量は過去10年間、年3億円前後でほぼ横ばいである。

問 工事量の減少に伴い、設備投資や人材確保について町内業者も大変な苦労をしている。最低限の公共工事、災害復旧に支障が出ないような方策についてどのように考えているか。

補助金についても積極的に取り組んでいく

答 町長 都市建設課のインフラ整備の中でも橋梁の補修が大きな課題となっている。補助金についても、国土交通省や他の省庁にも出向いて積極的に取り組んでいく。

その他の一般質問
・教職員の人事異動について



町の災害復旧はどうか



塩井 早苗
議員

災害発生時の 水の確保について

問 災害発生時は、自助、共助が大切なのはもちろんだが、住民の財産、生命を守るという使命が行政にある以上、町の備え、対策は重要なことである。町の物資の備蓄状態は。

答 **安全安心課長** 町の地域防災計画では、大規模地震による避難者数を町人口の34%、9225人と見込んでおり、平成27年から5カ年計画で備蓄を進めている。役場、ヤングプラザ、町内の各小学校4校に防災倉庫を備え保管。食料はアルファ米、ビスケットを合計1万2551食、水は500ミリリットルのペットボトルで約8640本量にして4320リットルである。

問 この備蓄物資以外で、飲用水として使える施設の準備があるか。

答 **安全安心課長** 中野小学校のプールには、緊急時に稼働する浄水器があるが、厚生労働省で定めた水質基準を全てクリアすることが難しいため短期間の利用に限られている。防火水槽、井戸水、雨水、川の水といった水源が使えるが、飲用水として使えるかという点と難しい。飲料水というよりも、主に手洗いや洗濯などに使う生活用水としての活用を想定している。

問 しているか。

答 **安全安心課長** 県の東部環境事務所が未把握の地下水汚染を発見するたに、年に一回、個人所有の井戸を抽出し水質検査を実施している。47軒の井戸が確認されている。

問 町長は行政のトップで命を守るといのが最も重要な案件の一つである。災害時の水の確保は。

答 **農業振興課長** 陸田の箇所と個数の把握はしていないが、町内にはたくさんさんの陸田ポンプがある。特に長柄地区には多くあり、その陸田ポンプの水は生活用水として使える。ただし、災害により電気が供給されない状況になると陸田ポンプが動かない。発電機や浄水器の用意が必要である。

問 最後に確認したい。3市5町の水道企業団の民営化は、絶対あり得ないということではないか。

答 **町長** 安心して町民に水道水が提供できるように、現時点での民営化はな

利用できるものは
すべて利用



飲み水として期待される井戸

一般質問



松島 茂喜
議員

金子町政11年間の 実績について

問 町長は、平成19年12月議会で「町のさらなる発展のため、全力で職務に取り組む」と所信を述べられ、11年が経過したのか。

答 町長 他は発展したのか。結果、町は発展したのか。

問 その判断基準は何か。

答 町長 中央公民館が建設されたことや子育て環境の充実が図られたことである。

問 金子町長独自の政策を教えてください。

答 町長 行政は継続性が重要である。文化の振興では、ダンス、演劇、合唱がある。教育では、就学

支援であり、私としてはオリジナリティな事業展開がされていると思う。

問 町長が立案した政策に対して、町外からの行政視察はあったのか。

答 町長 あいあいセンターとシンボルタワーである。

問 両方とも、金子町長就任以前から存在しているのか数字を見ればわかるが、人口は平成22年4月から平成30年10月の間で1401人減少。大変懸念されるのは、生産年齢人口の3113人の減少である。また、転入、転出の増減ではマイナス412人である。転出

を抑える方策は打ったのか。

答 町長 邑楽町も消滅可能性都市にならないように頑張っていく。

問 町の工業事業所数と出荷額も減少している。それに伴い所得額の減少となっている。町税収入では、平成20年度から平成29年度の間で約4億円の減収となっている。自主財源も約70%から約54%に落ち込んでいる。この状況でも町は本当に発展しているのか。

答 町長 安定した財源確保はできていると自負している。

問 これまで、数えきれないほどのオリジナリテ

ィのある事業をしていたが、今後も長期にわたっていきつた事業展開をしていく意欲はあるのか。

答 町長 行政サービスを低下させるわけにはいかない。町民の皆さんが安心して安全に生活ができるような環境づくりに努力したい。

問 それを実現するには、残り1年の任期では難しいのではないのか。その後継続してやっていく気持ちはあるのか。

答 町長 「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち」の実現に向けて努力していくのが私の責務である。これからも皆さんとともに頑張っていきたい。





原 義裕
議員

「邑助けネットワーク」の 推進について

アの軽減ができると思うが。

地域の皆さんと
力を合わせる

答 町長 介護保険制度の中で進められている。

2025年には、後期高齢者が34%になる。生活支援体制を作り上げ、活動を支援することはやぶさかではない。地域の皆さんと力を合わせる事が大切だ。

援など地域や町ぐるみで進めることだと思うが。

答 町長 「邑助けネットワーク」は、地域の皆さんで推進し作り上げようとしている。お互いの気持ち

を共有していけば、心温まる地域がつけられる。高齢化だけでなく、少子化、児童福祉問題といういろいろあるが努力していく。

問 これから、超高齢化・平均寿命100年を迎え、医療費や介護費などの増額が見込まれる。第六次総合計画は、「やさしさと活気の調和した夢あふれるまち」を将来像にしているが、まさに「邑助けネットワーク」と重なるところが多くあると思う。推進目的を聞きたい。

答 健康福祉課長 国の社会保障・税一体改革大綱を受けて、平成27年から取り組み平成29年2月に「邑助けネットワーク」が誕生した。

問 現在の推進状況を聞きたい。

答 健康福祉課長 小学校区ごとに勉強会や意見交換会が行われ、お互いさまの地域づくりが行われている。

問 高齢者の支援活動については、他に公民館でも高齢者対象の講座や教室があるのか聞きたい。

答 生涯学習課長 生きがいを見いだす活動で、地域の中で生き生きできる

問 お互いさまの精神で、町全体で地域の活性化をすると解釈するが、町が取り組んだ経緯を教えてください。

答 生涯学習課長 生きがいを見いだす活動で、地域の中で生き生きできる

参加型の講座や教室を行っている。

問 参加型は皆さんが作り上げていくもので、まさしく寿命を延ばし社会参加させることだ。民生委員やボランティアの活動を聞きたい。

答 健康福祉課長 民生委員は、生活に困っている方や育児子育てに関する福祉サービスを社会福祉協議会と連携して行っている。ボランティアは、障害者施設や介護施設での活動が主なものになる。

問 「邑助けネットワーク」に重なるものが多く、うまく推進、活動ができれば、民生委員やボランティア

答 町長 「邑助けネットワーク」は、健康福祉課で対応して一緒になって進めて行く。

問 行政としては縦割りですが、現場では、福祉だとか児童だとか教育だとか分けられない。居場所づくり、交流の場、見守り活動、生活支援、移動の支



邑助けネットワーク会議の様子

一般質問



松村 潤
議員

子育て支援の 充実について

問 季節性インフルエンザは、12月の時期から流行が始まり、そして1月から3月にかけてピークを迎える。インフルエンザに感染した場合、学校では感染拡大防止のため、学校保健安全法で出席停止者が多くなれば、学級、学年閉鎖となるが、その状況について伺う。

答 **学校教育課長** 平成29年度、学級閉鎖は小学校4校で11クラス、延べ30日間。学年閉鎖は小学校1校で3日間である。中学校では学級閉鎖、学年閉鎖はない。

問 学校においてインフルエンザにかからないように注意喚起されていると

思うが、予防には予防接種が一番よいと考える。現在の接種状況は。

答 **健康福祉課長** 現在、任意接種となっているため、保険診療外ということもあり把握はしていない。

問 インフルエンザにかかると、感染力が強くなる時は重篤化し、命を落とす場合もある。子どものインフルエンザ予防接種は、平成6年から予防接種法の改正で対象から除外され、任意接種となり全額自己負担になっている。その接種料金は、1回につき3000円から5000円くらいになつてきているように経済的負担がかかる。費用の助成が

できないか。

答 **健康福祉課長** 町では成は、高齢者肺炎球菌と風疹になつている。予防接種に対して助成をすることの判断については、すぐにはできない。

問 子どもが罹患すれば、学校を1週間休まなければならぬ。そして保護者が看病し、看病する保護者が感染すれば働いている保護者の方は、会社を休まなくてはならない。インフルエンザの流行は医療費の増加にもつながる。子ども

の健康を守るため、病気になる前に予防することが医療費の抑制につながると考えるが。

答 **健康福祉課長** インフルエンザに限らず事前に予防ができれば医療費の抑制につながる。

問 小学生以下は2回接種しなければ効果がないとされている。1人当たり2回分の接種費用は約8000円になる。3人4人

と子どもがいる家庭では、経済的負担が大きいのではないか。多子世帯への助成ができないか。

答 **健康福祉課長** 助成ができるかどうか調査研究する。

問 高校受験を控えた中学生3年生を対象に、予防接種への助成ができないか。

答 **健康福祉課長** 多子世帯への助成と合わせて、受験生を対象とした助成ということについても、これから考慮していかなければならない。

問 町長の考えを伺う。

予防措置について
研究する

答 **町長** インフルエンザの予防措置について、研究をさせていただきたい。

その他の一般質問
・プログラミング教育について





瀬山 登
議員

邑楽町役場周辺整備の
今後の予定について

問 役場庁舎を中心に保健センター、シンボルタワー、あいあいセンター、図書館、邑の森ホール付きの中央公民館が完成した。

半円形道路外側に中央公園として、北に多目的広場がある。町内外から多くの人々が訪れる場所になり町の顔であると思う。そこで、各施設の専用駐車場について伺う。

答 総務課長 駐車場については、各施設共有する形で整備した。公園駐車場を含めて約600台の駐車スペースが確保されている。

問 車社会である。利用する施設付近に駐車したいため、あいあいセンター

と図書館付近は、通行帯の表示もなく駐車台数が少ない。混雑が発生しているが解消方法はないか。

答 総務課長 区画線などラインの引き直しを予定している。

問 中央公園西駐車場が狭く未整備のところがある。図書館や邑の森ホール利用者のために広く整備できないか。

答 都市建設課長 今後の利用状況を見ながら検討する。

問 役場職員の駐車場について伺う。何台くらいか。何処に駐車しているのか。

答 総務課長 庁舎外は各施設付近に、庁舎内は約140台。中央公園東駐車場と多目的広場駐車場に分散して駐車している。

問 庁舎東にケヤキと芝生の広場がある。公用車専用駐車場に変更し、女性職員の安全のため駐車場を庁舎裏に確保できないか。

答 町長 駐車場配置について提案を受けたが、ケヤキは寄附である。考え方を十分踏まえたなかで今後考えていきたい。

問 多目的広場駐車場の共有は、町道5号線の横断歩道が適切でないと思う。現状に合った変更ができれば伺う。

答 総務課長 この地域全体の当初計画が完成した。今後、見直したい。

問 多目的広場で産業祭などの大イベント時、駐車場からあふれた車で5号線道路が渋滞した。対応が緑ヶ岡公園駐車場などの案内である。買い物に来た人が遠くの駐車場を利用するのか。

答 商工振興課長 イベント時の駐車場は、皆さまに不便を掛けたと認識している。今後関係機関と調整を諮りたい。

問 庁舎棟近くに整備した駐車場を確保して、利用しやすい環境整備を行なっていたらいい。

施設の活用に
環境を整えたい

答 町長 この地域は、公共施設整備が完了した。当然見直しが必要である。施設が、有効活用できるよう環境を整えていきたい。



未整備の中央公園西駐車場



休憩室 The Lounge



草田 博行
(鶴上・12区)

10年間ありがとう

12万キロ、地球3周分。この10年間に愛車とともに走った距離である。

この10年は、我が家の子どもたちが中学・高校・大学という時期を過ごした時間でもある。

中学・高校時代は、学習塾の送り迎えで自転車積んで走ったり、塾からの帰路で進路や将来の話などをした。大学時代は、荷物を満載にして引越したり、休み明けに大学に戻るときに送っていきながら、大学生活や就職活動の話などをした。今の愛車は、この10年間の子どもたちの成長を一緒に見守ってくれたり、私が一人でいろいろ考える時間と空間を与えてくれた。

車はそのときどきの家庭状況で、大きさや形、乗車人数など、必要とされる条件が変わってくる。私も10年前の家庭状況から今の車を選択したが、正解だったと自己満足している。

12万キロ、地球3周分、10年間ありがとう。

議会のうごき

11月

- 5日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
- 8日～9日 群馬県町村議会議長会役員視察研修
- 14日 議会広報委員会研修
- 19日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 21日 町村議会議長会全国大会
群馬県町村議会議長会議長研修会
- 27日 群馬東部水道企業団全員協議会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 30日 全員協議会

12月

- 9日 群馬県防災ヘリコプター事故殉職消防職員合同追悼式
- 10日～14日 12月定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会
全員協議会、広報委員会)
- 27日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
- 28日～31日 消防団歳末警戒の督励

1月

- 8日 広報委員会編集会議
- 12日 館林地区消防組合出初式
- 13日 成人式
- 17日 新年賀詞交歓会
- 18日 広報委員会校正会議
群馬県町村議会議長会理事会
- 22日 邑楽郡町村議会議長会臨時会

議会だよりの表紙の写真募集

邑楽町議会では、議会だよりの表紙に掲載する写真を募集しています。邑楽町に在住・在勤であればどなたでも応募できます。皆さまの応募をお待ちしています。

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は

3月5日から15日を
予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は6日、7日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録は、図書館、中央公民館、長柄公民館、ヤングプラザに置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

URL <https://www.town.ora.gunma.jp/li/070/index.html>

詳しくは、議会事務局まで 47-5000

新潟県小千谷市



遠藤 沙織
(十三坊塚・6区)

私の故郷は、新潟県小千谷市。新潟県のほ

ぼ中央、越後平野の南端にあります。春には牛の角つき、夏にはおぢやまつりの万灯パレード、秋には世界

一の四尺玉が上がる片貝まつり、冬には風船一揆といった四季折々の行事が楽しめます。

冬の風物詩でもある風船一揆は、真っ白な雪景色の空の上を全国から集まった40機ほどの熱気球が飛びま

す。これがすぐく素敵な風景で、校舎の窓からみんな球を眺めていたのを思い出します。

小千谷は豪雪地帯であり、大雪が降ると雪下ろしや流雪溝の雪流しが欠かせません。流雪溝がある日は家族が一丸となってスノー

ダンプを手に雪を流し入れます。これが大仕事で、最初は寒くないように着込んでも大汗をかいてしまい、結局、汗で濡れて寒くなるという悪循環です。でも流雪溝が終わると母親が用意してくれた甘酒を家族みん

なで飲むのが冬の楽しみでした。

邑楽町に来てからは雪が降る大変さを痛感し、地元では雪国ならではの生活の工夫がなされていたことを実感しました。昔も今も冬は苦手ですが、雪景色は私にとって思い出の風景なのです。



冬の風物詩 おぢや風船一揆

編集後記

新年おめでとうございます。昨年は気候による災害や地震など全国的に多く、自然の脅威にさらされた一年でした。

師走に発表された一年の世相を表す漢字一文字も「災」でした。今年、5月に歴史に残る新天皇が誕生し、平成の代替わりの元号になります。秋には重要祭祀「大嘗祭」が執り行われます。これを機に今年は災害のないように、また、被災地の復興を心より願うばかりです。

さて、議会におきましては、12月定例会が10日から14日まで開催されました。提出された議案に対しては慎重な質疑、討論がなされて採決され、すべて可決されました。一般質問では7人の議員が熱意をもって行いました。

広報委員会では、町民の皆さまに議会だよりを正確に分かりやすく伝えられるよう努力して参りますので、ご愛読お願いいたします。

(半田記)